



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催

このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。南部土木事務所では、9月30日に第2回南部地域ワーキングを開催しました。

第2回地域ワーキング開催概要

【日時】 令和4年9月30日（金）
14:00～16:00

【場所】 南部合同庁舎 4階4A会議室

地域ワーキングの目的

南部土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見を聞くことを目的とする。



アクションプログラム策定スケジュール

第1回
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見を聴きました。

第2回
ワーキング

第1回WGでいただいた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見を聴きました。

今回

第3回
ワーキング

「地域の声」や「地域の重点項目」をとりまとめるとともに、地域の課題を解決する事業中箇所を提示し、意見を聴きます。

第4回
ワーキング

アクションプログラム2023(案)を提示し内容について意見を聴きます。

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

「地域の声」「地域の重点項目」の事務局(案)

第1回南部地域ワーキングにて頂きました委員のみなさまからのご意見を参考にしながら、南部土木事務所管内における「地域の声」及び「地域の重点項目」事務局(案)を以下のように設定し、ご意見を聴きました。

地域
WG

地域における道路
に関する意見徴収

地域の声
として整理

地域の声のうち
特に重要な内容

地域の重点項目
として設定

「地域の声」のとりまとめ方針

●地域ワーキングの意見を反映

第1回地域ワーキングで頂いた意見を基本に、県民アンケート、各市からの意見を踏まえてとりまとめる。

●わかりやすく簡潔にまとめる

広く県民に理解していただくため、わかりやすい文章で簡潔に整理する。

●パンフレットで周知

今後作成、配布するアクションプログラム2023のパンフレットに、意見を掲載し、広く地域内(県内)に周知する。

「地域の声」(案)と「地域の重点項目」(案)の対比

「地域の声」事務局(案)	「地域の重点項目」事務局(案)
交通渋滞の緩和	・著しい渋滞を緩和できる整備
災害時も含めたまちづくりに資する拠点間ネットワークの整備	・幹線道路の整備
安全で安心・快適に利用できる歩行者・自転車の道路利用空間の整備	・通学路等の整備
快適な道路環境創出に向けた維持管理	—

ワーキングでいただいた主なご意見

▶「地域の声」・「地域の重点項目」事務局(案)へのご意見

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・交通渋滞の緩和	・著しい渋滞を緩和できる整備

- ・渋滞損失時間が大きいということは経済的な損失が大きい。渋滞箇所における対策が必要。
- ・昔からの課題。渋滞速度のデータについては、できるだけ新しいデータで確認すべき。
- ・渋滞を緩和できる整備と、幹線道路の整備について、言葉の使い分けについて記載が必要。

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・災害時も含めたまちづくりに資する 拠点間ネットワークの整備	・幹線道路の整備

- ・Wネットワーク化の視点も入れて 幹線道路の整備を進めてもらいたい。
- ・東西軸の緊急輸送路が1路線では大規模災害を想定すると不十分、整備していく必要がある。
- ・幹線道路のことも入れていただいているので、しっかり予算を取って進めてもらいたい。
- ・幹線道路を整備することで渋滞が緩和し、それに交通事故も減ると思う。
- ・竜王ICへのアクセス道路は非常に重要な道路なので、整備を考えてもらいたい。
- ・無電柱化については、一般の方にはそのメリットが分かりにくいと思う。

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
・安全で安心・快適に利用できる 歩行者・自転車の道路利用空間の整備	・通学路等の整備

- ・歩道や自転車道の整備に際しては、どういった方が通行するのを見据えて進めてもらいたい。
- ・歩行者と自転車を分けるような歩道整備をお願いしたい。
- ・通学路にはガードレールによる歩車分離、交差点では突入防止のためのガードレールの整備が必要。
- ・学校関係だけに限定するのではなく、未就学児や自転車なども含めてほしい。
- ・中学生や高校生の通行道路の安全対策も視野に入れてもらいたい。
- ・県道の通学路指定区間が少なく、通学路に限定すると歩道の整備が遅れるのではないかと懸念がある。
- ・“高齢者や障害のある方に配慮した”という文言もキーワードに入れるべき。
- ・福祉施設や医療機関周辺の道路も含めてもらいたい。また、バリアフリーだけでなく、ユニバーサルデザインについてもキーワードとして入れてもらいたい。

「地域の声」(案)
・快適な道路環境創出に向けた維持管理

- ・舗装が凸凹であったり雑草により歩道があるのが見えにくい箇所もあるので整備をお願いしたい
- ・維持管理に際しては、道路管理者間で連携しながら進めてもらいたい。
- ・明示対策として、注意喚起と適切な案内については、ドライバーや歩行者に分かりやすく明示してもらいたい。



◆ ◆ ◆ 地域ワーキング委員(敬称略、五十音順) ◆ ◆ ◆

綾井 考子 [草津栗東交通安全協会 副会長]	川瀬 正 [守山市都市経済部 部長]
井上 和典 [栗東市建設部 部長]	田中ひろ子 [守山野洲交通安全協会 会長 滋賀県商工会議所女性会連合会 副会長]
岩崎 裕史 [公募委員]	中井 拓 [守山警察署交通課 課長]
打田 敏之 [草津市建設部 部長]	平川 千波 [滋賀県トラック女子部会 会長]
大黒 栄一 [公募委員]	三上 忠宏 [野洲市都市建設部 部長]
小川 圭一 [立命館大学理工学部 教授] (座長)	山本 勇造 [公募委員]
奥田 晃 [草津警察署交通第一課 課長]	
奥田 康博 [(公財)滋賀県身体障害者福祉協会 常務理事]	

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 南部地域ワーキング
～南部地域ワーキングニュース～ 2022年11月発行

【編集・発行】 滋賀県南部土木事務所道路計画第一課

〒525-8525 草津市草津3丁目14-75 TEL:077-567-5439 FAX:077-562-9234

E-mail: ha31100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/326756.html>

議事録URL
はこちら

